



2019年11月7日

各位

会社名 株式会社フジオフードシステム  
代表者 代表取締役 藤尾政弘  
(東証第一部 コード番号 2752)  
問合せ先 取締役 経営企画本部長 九鬼祐一郎  
TEL 06-6360-0304

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年2月14日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2019年12月期の連結業績予想数値の修正 (2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2019年2月14日発表)	百万円 40,100	百万円 2,500	百万円 2,420	百万円 1,185	円 55.21
今回予想(B)	40,100	1,878	1,879	793	36.86
増減額(B-A)	0	△622	△541	△392	—
増減率(%)	0.0	△24.9	△22.4	△33.1	—
(ご参考)前期実績 (2018年12年期)	36,145	2,259	2,189	911	42.50

#### 2. 修正の理由

当連結会計年度の業績につきまして、期首時点の予想においては、直営事業の既存店売上高の計画は101.5%、新規出店は60店舗を計画しておりました。

第3四半期累計期間では、新規出店は計画どおりに好調に推移し、直営既存事業におきましても、さち福や、えびのやなどの業態は堅調な業績で推移しておりました。

しかし一方で、まいどおきに食堂を中心とした業態の回復が予定どおりに進まなかったこと、また日韓関係の悪化などによるインバウンド消費の減少や、台風等の自然災害の影響もあり、既存店売上高において計画を下回りました。

結果として、既存店売上高の低下から利益率が想定を下回る結果となったことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が、それぞれ前回発表予想を下回る見通しとなりました。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

以上